



施策展開の方向性



【高齢者の地域生活を支えるつながりづくり1】

代表的な取組み

- 地域包括支援センター・ランチの活動
 - ・総合相談支援・権利擁護相談
 - ・地域ケア会議の開催など
- 認知症施策の推進
 - ・オレンジチーム（認知症初期集中対策チーム）による相談支援
- 在宅医療・介護連携の推進
 - ・在宅医療・介護連携相談支援室による相談や研修の実施、周知・啓発
 - ・西区連携シート（情報共有シート）の運用



- 介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、高齢者の在宅生活を支える医療・介護・生活支援・介護予防などが包括的・継続的に提供される地域づくり（地域包括ケアシステムの構築）をめざします。
- 多職種の実践者が顔の見えるつながりをつくり、情報や課題を共有し連携を進めます。
- 認知症高齢者の増加を視野に入れ、医師を含む、医療・福祉・介護の職員からなる認知症専門チームにより、多職種の支援者や民生委員・児童委員など地域の皆さんとの連携のもとに、認知症の早期発見・早期対応を進めます。



施策展開の方向性

【高齢者の地域生活を支えるつながりづくり2】

代表的な取組み

- 生活支援体制整備事業
 - ・ニーズや資源の把握及び協議体を通じた支援体制づくり
 - ・立ち寄り処などのつどいの場の立ち上げ・拡充
- 介護予防の取組み
 - ・食生活改善推進協議会・健康づくり推進協議会との協働による健康づくり
 - ・百歳体操の普及・グループ立ち上げの支援



- 区社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと区役所が、ボランティアやNPO、民間企業、社会福祉法人などの多様な主体と連携し、西区の高齢者を支える生活支援・介護予防のサービスを充実していくために協議し取り組みます。
- 高齢になっても、住み慣れた地域で生き生きと暮らせるように、地域、関係団体やボランティアグループと連携し、生活習慣病予防やこころの健康づくりに取り組むほか、介護予防に効果のある住民主体の体操・運動等の通いの場がより身近なところで展開されるよう支援するとともに、運動器の機能向上を図る「いきいき百歳体操」に加え、口腔機能の向上を図る「かみかみ百歳体操」、栄養改善、認知症予防など、区社会福祉協議会などと連携しながら取り組みます。